



1月給食だより

令和6年度 No.9
川崎市立宮前平小学校



明けましておめでとうございます。年末年始は、年越しそばや、おせちやお雑煮など、日本の食文化に触れる機会が多いかと思えます。特におせちには、料理ごとに様々な願いが込められており、日本の大切な文化だと感じます。学校でも、毎年1月の給食には、雑煮を取り入れています。

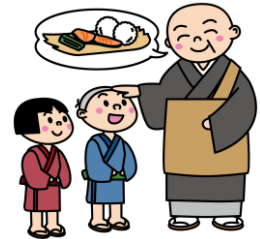
今年も、安全でおいしい給食を提供していきたいと思えます。よろしくお願いいたします。



1月の献立について

1月の給食目標「給食について考えよう」

「ねらい」給食の歴史を知り、感謝の気持ちをもって、食事ができる



★給食目標に関連した献立

8日 きな粉パン 牛乳 カレーシチュー ボイル野菜 和風ドレッシング



★新献立「さばのねぎみそかけ」(9日)

香味野菜の長ねぎは、魚の臭みを消す効果があります。

さばをおいしく食べることができるように、焼いたさばにねぎが香るみそだれをかけます。

★「かながわ産品学校給食デー」(15日)

ごはん 赤しそごま 牛乳 肉じゃが みそ汁



かながわけん 神奈川県でとれたお米・牛乳・大根・小松菜を使用します。

★行事食「給食週間」(27日)

ごはん 焼きのり 牛乳 さけの塩焼き
煮びたし みそ汁

給食発祥当時の献立は、おにぎり、焼き魚、漬物だったので、その頃の給食をイメージした献立です。給食への関心を深めてもらうために、毎年この行事食を実施しています。

★季節の食品

1月が旬の食品として、次の食品を給食に取り入れています。

キャベツ ごぼう セロリ ほうれん草 小松菜 大根 長ねぎ 白菜 海苔

給食費の引き落としについて

1月31日に第8期(1月分)の給食費の引き落としを予定しています。引き落とし金額は、¥4600です。口座残高の確認をお願いいたします。

また、校外学習や振替休日等で給食の停止がある場合は、第9期(2月末)の引き落としで調整されます。

1/24~1/30 全国学校給食週間

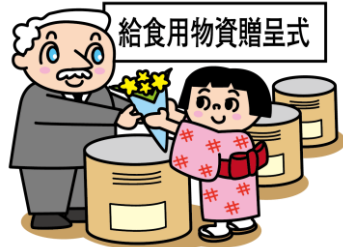
給食の歴史&献立の変遷



学校給食の起源は、明治22（1889）年にさかのぼります。山形県の大磐寺というお寺の中にあった小学校で、お弁当を持ってこれない子どもたちに、昼食を無償で提供したことが始まりとされています。その後、全国へと広がりましたが、戦争による食料不足などの影響で中断されてしまいました。



戦争が終わっても食料不足は続き、子どもたちの栄養状態が心配されたことから、学校給食の再開を求める声が高まりました。



給食用物资贈呈式

アメリカのLARA（アジア救援公認団体）から贈られた物資を使い、昭和22

（1947）年1月に給食が再開しました。

昭和22年ごろの給食

脱脂粉乳や缶詰などの物資を使って給食が作られました。

トマトシチュー・ミルク

★昭和21（1946）年12月24日に物資の贈呈式が行われたことから、この日を「学校給食感謝の日」としましたが、冬休みと重なるため、昭和25（1950）年度からは1月24日～30日を「全国学校給食週間」とすることが定められました。

★昭和29（1954）年に「学校給食法」が成立し、学校給食の実施体制が法的に整い、教育活動として位置づけられるようになりました。

昭和25年ごろの給食

アメリカから寄贈された小麦粉を使って、パン・ミルク・おかずの完全給食が始まりました。

コッペパン・ミルク・カレーシチュー

昭和40年代ごろの給食

パンの種類が増え、めん類も提供されるようになりました。脱脂粉乳のミルクは牛乳へと切り替わりました。

ミートスパゲッティ・牛乳・フレンチサラダ・プリン

昭和50年代ごろの給食

給食の主食はパンが中心でしたが、昭和51年に米飯が正式に導入され、献立の内容も豊かになっていきました。

カレーライス・牛乳・塩もみ・バナナ

★子どもたちを取り巻く食環境が変化する中で、平成17（2005）年に「食育基本法」が成立。平成20（2008）年には、学校における食育の推進を図る観点から「学校給食法」が大幅に改正されました（2009年4月1日施行）。



時代の流れと共に変化を続ける「学校給食」ですが、いつの時代も、子どもたちを大切に思う気持ちが詰まっています。そんな思いを感じて、おいしくいただきます。